

野蒜復興新聞

質疑応答は一時間以上



高台移転全体会議

1月14日(祝)
「第1回 野蒜地区復興協議会 高台移転全体会議」が開催されました。対象者は防災集団移転促進事業の戸建て希望者で、大雪の中200名以上が参加。

現在まで高台移転部会で協議された結果報告、土地利用計画、今後の整備スケジュール、そして移転エリア意向アンケートについての説明がされました。土地利用計画の説明では、市内7地区で集団移転促進事業が計画されていますが、野蒜地区のみが商業地を含む計画とされていること。今後のスケジュールの説明では、段階的な整備が必要になるため、中央エリアの宅地造成完成時期に差が生じる見込み

期間短縮のため土搬出はベルトコンベア検討

で、西部と東部エリアは28年度3月、中央エリアは29年3月頃の見込み。しかし27年度から西部と東部エリアでは住宅建設に着手できる区画もでてくる見込み。

移転エリア意向アンケートについてでは、今までの説明を聞いた上で、西部、中央、東部のどこのエリアを希望するのか、その選択理由を記入すること等の説明でした。今後この集計結果をもとに高台移転部会において再度エリア決めを検討を進めていく予定です。

最後の質疑応答では1時間を越えるやりとりとなりました。「図面上の厚生施設等とは、医療福祉施設も予定しているのか?」「まだ具体的に場所など定まってはいるが、医療福祉関係の誘致は検討している」など。詳しい内容は野蒜まちづくり協議会ホームページへ。



旧行政区維持の集団移転

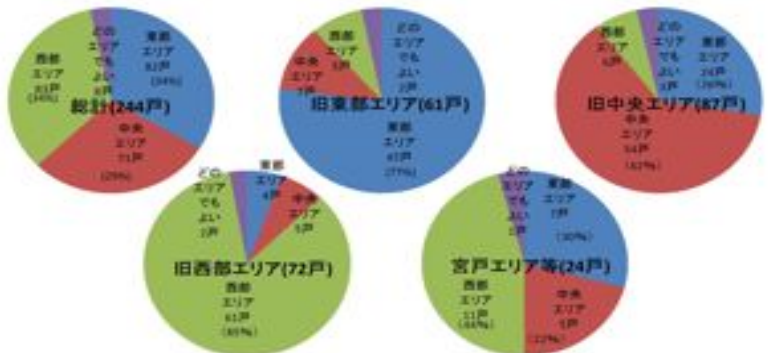
1月23日(水)第4回高台移転部会が開催されました。このたびは、前回の全体会で実施した「移転エリア意向アンケート」集計結果の共有と、その結果に基づいた移転エリアの課題について協議しました。

アンケートはおよそ9割の回収率。旧東部エリアから東部エリアへ8割、旧中央エリアから中央エリアへ6割、旧西部エリアから西部エリアへ8割の希望者となりました。移転エリア選択理由で一番多いのは「旧行政区

移転エリア意向アンケート結果

に近いから」が5割以上。その他「駅の利便性が良い」が約14%。「公共施設の利便性が良い」が約7%となっています。この意向結果から、多くの人が旧行政区を重視した集団移転を望んでいる事がわかりました。

今後の予定としては、引き続き高台移転部会においてエリア決めの協議を続け、その後2度目の全体会議を開催。そこで最終の移転エリア意向の確認を実施できたらと協議を進めています。今後も高台移転部会の協議は



移転エリア意向(実数): 旧東部エリアから東部エリアへの移転要望が8割、旧中央エリアから中央エリアへ6割、旧西部エリアから西部エリアへ8割となっており全体の約7割の方々が旧行政区に近いエリアへの移転を希望。

野蒜地区復興協議会 復興部会 今後の体制検討

1月10日(木)10時から野蒜市民センターにおいて第1回復興部会が開催されました。昨年10月に野蒜まちづくり協議会復興部で提言書を取りまとめ、市長へ提出して以

来の復興部会です。現在は高台移転部会が毎週協議を実施しておりますが、今後はそれとは別に野蒜地区の跡地利用などの協議が始まります。そのため、この準備段階として、こ

のたび復興部会と市関係者として協議を実施しました。今後の体制としては、月に一度程度の協議を予定し、時間も固定で18時30分から野蒜市民センターで実施することと決まりました。また地区別の緊急避難場所を特定するため、市の防災交通課との協議の場の設定も検



討しています。次回、第2回復興部会の予定は2月6日

(水)18時30分から野蒜市民センターで実施予定です。他の部会である教育施設部会、産業振興部会、医療福祉部会の第1回会議予定も2月中旬に決定すると思われ、決まり協議会ホームページで発信いたします。皆様のご参加お待ちしております。



今後の体制について市と協議(1月10日)

毎週続いていくなかで、進捗情報や協議内容は「野蒜まちづくり協議会ホームページ」上で発信してまいります。